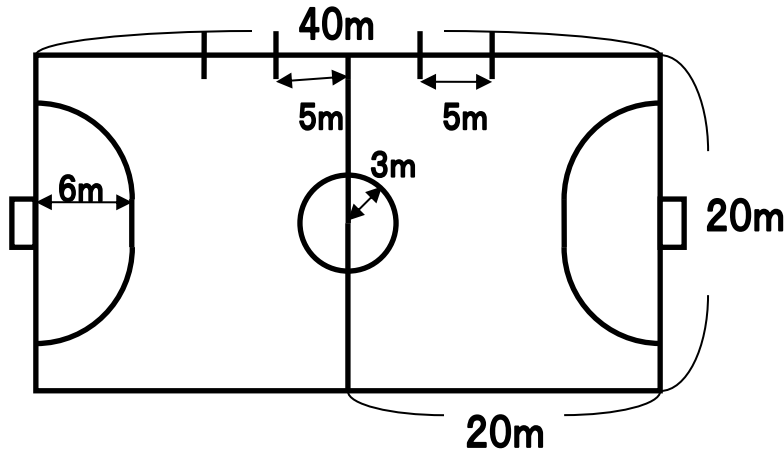


第14回 本巢市フットサル大会

競技規則について

1. ピッチサイズは、下記の図の通りです。



- ・コーナークの半径は、25cmです。ゴールサイズは、縦2m×横3mです。
- ボールはフットサル用ボールを使用します。
 - 試合は5人以下で行なう。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーである。
 - 交代はフリー交代で、インプレー中に交代できる。交代は交代ゾーンで行なうことができるが、ピッチを出る競技者が完全にタッチラインを越えて外に出るまで、ピッチに入ることができない。
 - 靴はスパイクの使用は禁止します。選手は、なるべくシンガード（すねあて）とストッキングを着用して下さい。
 - 審判は2人で行ないます。審判はピッチ内に入ってもよいが、競技者の邪魔にならないよう注意する。
 - 試合時間は、15分間で行い、ハーフタイム、タイムアウトは無しとする。
 - ボールがタッチラインを越えた時は、越えた地点から、キックインにてプレーを再開する。キックインは、ボールをタッチライン上に静止させ、キックインする競技者は、軸足がタッチラインを完全に踏み越えないようにする。越えた場合は、相手側のキックインにて再開。
 - 攻撃側のチームが最後に触れて、ゴールラインを越えた場合は、守備側のゴールクリアランスにてプレーを再開する。ゴールクリアランスは、守備側のゴールキーパーがペナルティーエリア内の任意の地点よりボールを投げる。
 - 守備側のチームが最後に触れて、ゴールラインを越えた場合は、攻撃側のコーナーキックにてプレーを再開する。コーナーキックは、ボールが出た地点に近い方のコーナークの中に入れてボールを静止させ、攻撃側競技者がボールを蹴る。
 - 反則と不正行為は11人制のルールに以下の項目を加える。
 - ・肩によるものも含めて、相手をチャージする。（直接フリーキック）
 - ・相手競技者が近くにいる時に、ボールをプレーしようとしてすべる（スライデ

- イングタックル)。(直接フリーキック)
- ・ゴールキーパーが4秒を越えて、ボールを手または足で触れるかコントロールする。(間接フリーキック)
 - ・キックイン、コーナーキック、ゴールクリアランス、直接フリーキック、間接フリーキックにおいて、それを行なう競技者がボールを保持してから、4秒以内に、プレーを行なわない場合。(間接フリーキック)
 - ・ゴールキーパーがボールに触れた後、相手選手が触れる前に、もう一度ゴールキーパーが触れた場合は相手側の間接フリーキックとなる。
12. 攻撃側がペナルティエリア内で、直接フリーキックを与えられた場合は、ペナルティキックを行なう。間接フリーキックを与えられた場合は、違反のおきた地点に最も近いペナルティエリアライン上から行なう。
 13. フリーキック、コーナーキック、キックインを行なう時は、相手側の競技者は、5m以上離れなければならない。
 14. コーナーキック、ゴールキーパーのパントキックとドロップキックによる直接の得点は、OK。キックオフ、キックイン、ゴールキーパーズローからの直接得点は、認められない。
 15. 警告、退場については、フットサルのルールに準ずる。
 16. 試合開始と終了の合図については、本部より行い、グラウンド内の全てのコートは一斉に進行させる。
 17. 同点の場合は、引き分けとする。
 18. 順位決定については以下のとおり。
 - 1, 勝ち点 勝3点 引き分け1点 負0点
 - 2, 得失点差
 - 3, 総得点
 - 4, 総失点
 - 5, すべてが同じ場合は3人によるペナルティキック

以上のような競技規則で本大会を行います。フットサル競技ルールを基に、審判員、グラウンド、進行等の都合により、ローカルルールを採用させて頂いております。大会当日までに、選手や審判員に競技規則を徹底して頂き、大会の開催にご協力頂けますようお願いいたします。

また、不明な点、ご質問がある場合は、大会当日前は、事務局まで。大会当日は、本部またはコート責任者までお問い合わせ下さい。

本巣市サッカー協会
フットサル大会 実行委員会